

加賀大会での競技運営について

【審判員】

8:10 審判会議 サブアリーナ集合（荷物持参、帯同審判員以外は健康チェック表提出。）

○感染予防対策のため試合形式、競技中の変更点について説明。

- ・審判員は試合中笛をくわえる時にはマスクは顎に下げておく。安全確認、協議、指導、罰則の宣告の時など対面で話す場合にはマスクを上げる。呼吸が苦しい等着用困難な場合は外して距離をとる。（必要に応じて交換できるよう各自複数枚準備する）
- ・整列なし、セットアップ状態から開始。審判員は定位置につく。
- ・主審はコートマスター、記録員と対戦チームを確認して定位置につく。
- ・選手は準備ができ次第コートに入り、隣の選手と少なくとも1mの間隔をあけて立つ。
- ・選手がコートに入り、審判員が定位置についた事を確認し「お互いに礼」のコール。挨拶は声に出さず、礼のみ。
- ・主審「セットアップ」のコール。
- ・選手を座らせて人数確認。
- ・副審との人数確認は対面時に間隔をあける。主審「ジャンプボール」コール。この時副審は一度サークル外に下がる。
- ・主審は副審からボールを受け取った後、サークルより後方に下がり、選手から離れた位置で確認の笛を吹く。
- ・ジャンプボールの主審の笛は吹かない。計時員スタッフに試合開始のタイミングを説明する。
- ・ジャンプボールのやり直しの場合はサークル外でタイムの笛を吹く。
- ・副審及び線審が同時に二人以上でタイム要求する際には、サークル上で止まる。
- ・安全確認の際は選手に触れない。（ただちに救護を要する場合を除く）選手との距離をとる。
- ・指導、警告等の宣告も同様に選手、監督等との距離をとる。
- ・主審、副審は試合終了の際はサークル上で止まる。
- ・人数報告について：主審は動作とコール→記録員は声を出さずに人数をスコアカードに記入→手を挙げる→最後にコートマスターが両チームのスコアを確認し主審に手を挙げて完了とする。
- ・コートマスターの確認合図の後、主審は「立ちましょう」と声をかける。
- ・主審の「お互いに礼」で声を出さずに礼をする。
- ・主審の「解散してください」で退場口へ移動する。審判員はシフトが続く人を除き解散。
- ・監督はスコアカードに署名する際の筆記用具を持参する。
- ・審判員は連続試合となる場合を除き、コートに出入りする際にはオフィシャル席のアルコールで手指消毒する。待機の審判員は試合終了後にコート内のモップ掛けを行う。
- ・線審のフラッグはアルコール消毒して返却。1コートに2セット準備する。
- ・オフィシャルについても交代の際には使用した物品をアルコール消毒する。
- ・使用球は試合終了後、複数セットの場合はセット終了毎にボールを交換し、アルコール消毒を行う。待

機の審判員が担当。消毒作業後は手洗いまたは手指消毒を徹底する。

- ・審判員は各自筆記用具を持参する。
- ・待機中はマスクを着用し、隣の人と間隔をあける。大声での会話は控える。運動直後や呼吸が整うまではマスクを外して距離をとること。決して無理をしない。

【帯同スタッフ】

8：20 本部集合。筆記用具を持参する。

担当分担を確認。本部・誘導担当は説明を受ける。オフィシャル担当者については担当コートを確認し、待機。審判会議終了後に各コート審判員からタイマーの使用法、記録について説明を受ける。

- ◎審判、スタッフに対し、500ml ペットボトル飲料を支給。(必要に応じて持参すること)
飲み物・弁当等は自己管理とし、ゴミは各自持ち帰る。飲食は決められた場所で行う。
- ◎審判控室では密集を避ける。換気のためドアは開けたままとする。各自荷物、貴重品の管理を徹底すること。
- ◎昼食は混雑緩和のため交代制とする。出たゴミについては各自持ち帰る。
- ◎食事中、水分補給の際にはできるだけ会話は控える。飲食前には必ず手洗い、アルコール手指消毒を徹底する。
- ◎2時間おきにアリーナの換気を行う。サブアリーナは使用中常時換気とする。
- ◎更衣室、トイレの利用は混雑を避け、順番に行う。スリッパに履き替える。トイレ使用後は手洗いを徹底する。
- ◎体調不良等は無理せず、本部役員、競技委員長、競技責任者に申し出ること。
- ◎大会後の健康状態に留意し、新型コロナウイルス感染が判明した場合には速やかにチーム代表に報告すること。